

ミクロの化石に見る地球環境変動史

山形大学理学部
地球環境学科
准教授

本山 功
MOTOYAMA Isao



専門分野

地質学・古生物学

キーワード

新生代、地球史、生層序、微化石、放散虫

研究紹介

1. 地球環境変動 -地球をゆさぶるイベントとリズム-

新生代の大陸氷河の発達にともなう地球規模の寒冷化イベントや、第四紀の急激で周期的な氷期・間氷期環境変動の証拠を求めて、太平洋や日本海の研究を進めています。

2. 古生物時計の高精度化 -イベントの発生時期はいつか？-

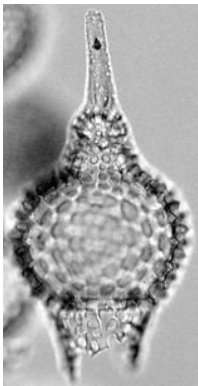
古生物、特に放散虫の進化系統を用いた地層年代決定ツールの開発。開発した年代指標は実際に石油探査に応用されたりします。



上. 研究室最強の設備「つるはし」
をかついで化石を掘りまくる！

3. 日本列島の地質と新生代地史 -とくに東北・北海道地域について-

野外調査を行って地質図や柱状図を作成して地層の累重関係を明らかにし、さらに放散虫化石や軟体動物化石などから堆積年代や堆積水深を求め、それらを総合して地層の形成史を復元します。



左. 放散虫化石の光学顕微鏡写真。放散虫は海洋プランクトン的一种でガラス質の骨格を持つ。直径約0.1 mm。現在だけで数100種が生息する。

相談・要望に応じられる分野

- ◎技術相談…地質調査、放散虫化石を用いた年代分析・古環境分析
- ◎出張講義…地層・古生物・地球環境変動史に関する講義・講演

研究の今後の展望

これから力を入れたい研究テーマには次の4つがあります。

- ◎日本海の第四紀海流系変遷史の高精度解析
- ◎放散虫化石による山形県新第三紀層の年代分析
- ◎北海道の新生代堆積史・古環境
- ◎放散虫を例にした海洋生物多様性変遷史



上. サメの歯化石。調査の副産物。

研究室の様子

◎2010年4月に筑波大学から転任してきたばかりのため、まだ卒業生はいません。これまでは、専門を活かせる石油会社、地質コンサルタント会社、海洋調査会社、気象庁、官公署等への就職を希望する学生がいました。

- 連絡先 TEL 023-628-4776 FAX 023-628-4661
E-mail i-motoyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
- HP <http://ksgeo.kj.yamagata-u.ac.jp/~motoyama/index.html>